



2018年6月12日

報道関係者各位

慶應義塾大学先端生命科学研究所

**「クモ糸のマルチオミクス解析」をテーマに受賞****河野暢明特任講師に若手アカデミー賞**

慶應義塾大学先端生命科学研究所（山形県鶴岡市、冨田勝所長）の河野暢明特任講師が、日本学術会議若手アカデミーが主催する第3回若手科学者サミット（6月4日、日本学術会議・講堂）において若手アカデミー賞を受賞しました。

若手アカデミーは、内閣府の特別の機関として独立して活動する日本学術会議によって、将来の学術界を担う若手研究者を育成するために設置された常設の組織です。若手アカデミーでは各学協会の若手の会をつなぐ若手科学者ネットワークを運営しており、その登録団体からの推薦を受けた若手研究者による研究発表が、若手科学者サミット内で行われました。河野特任講師は、複数団体（生命情報科学若手の会・日本ゲノム微生物学会若手の会）からの推薦を受けて登壇し、もっとも魅力的な研究発表であると評価され、受賞となりました。

当該研究は、クモ糸のような工業・産業的に有益なバイオマテリアルを効率的に人工利用するためのデザイン原理を、ゲノムや遺伝子、そしてタンパク質などから多角的に解明する試みであり、これまでに世界中のクモのゲノム・遺伝子解析を行い、クモ糸の強さに関わるさまざまな因子を新たに発見した成果が評価され、「若手アカデミー賞」を受賞しました。

河野特任講師は、「若手研究者サミットでは教育行政学、基礎心理学、公衆衛生学から物理学、細胞生物学、水産学そして気象学に至るまで、非常に多様な研究者達が一堂に会して研究発表が行われました。そのような専門性が大きく異なる方々の中でも、私どもの研究成果を高く評価して頂いたこと、またそうした研究土壌が山形県鶴岡市にある事を広くアピール出来たことをたいへん嬉しく思います」とコメントしています。

**【河野 暢明 特任講師 略歴】**

1985年埼玉県生まれ、32歳。2008年慶應義塾大学環境情報学部卒業、2010年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。2010年より日本学術振興会特別研究員（DC1）。2012年に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了、博士（学術）。同年より日本学術振興会特別研究員（PD）、2014年より大阪大学大学院医学系研究科特任助教、2015年より慶應義塾大学先端生命科学研究所特任助教、2018年4月より現職。

※本リリースは山形県政記者クラブ、鶴岡市記者会に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾大学先端生命科学研究所 渉外担当 塩澤、佐藤涼子

TEL : 0235-29-0802 FAX : 0235-29-0809 Email : [office@ttck.keio.ac.jp](mailto:office@ttck.keio.ac.jp)

<http://www.iab.keio.ac.jp/>